

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		12/11～12/18	12/18～12/23	12/23～12/27	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.096	0.079	0.040
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.040	0.023	0.029
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.020	0.032	0.030
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.047	不検出	不検出
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.043	0.032	0.047
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.023	0.045	不検出
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.029	0.022	0.027
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.042	0.082	0.063

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		12/11～12/18	12/18～12/23	12/23～12/27	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.026	0.028	0.025
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出	不検出

※検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

第124回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(2019年12月11日～2019年12月27日)

今回の大気中の浮遊塵の放射能測定結果は、セシウム137濃度が0.032mBq/m³程度と事故による過剰被ばくを考えなくて良い状態です。いよいよ、2号機を筆頭にして事故原子炉から燃料デブリの取り出しに向かった作業が開始されます。そのため事故原子炉をカバーで覆うなど、汚染放射能が外部に飛散しないようにする設備の建設が始まります。こうした一連の作業によって放射能が再飛散することがないように、今までに増して大気浮遊じんに含まれている飛散放射能の観測をしっかりと実施いたします。